

## 第 6 章 住民関与と進捗状況等の見える化

### 6.1 住民の意向の把握

「6.2 総合的判断に基づく事業手法の設定（１）住民意向の反映」に記載。

### 6.2 進捗状況等の見える化

水処理事業を進めていく上では、汚水処理施設の整備の進捗のみならず、個別処理施設の維持管理等、住民等の理解と協力を得ることが重要となる。そのため、策定した計画の客観性・透明性の確保や、着実な実行のため、計画の内容や目標に対する進捗状況を公表するといった、進捗状況等の見える化を図る。

本計画においては、進捗管理のためのベンチマーク（指標）として、整備手法ごとの処理人口普及率及び整備率を設定する。

本計画では目標年次である令和 23 年度までに処理人口普及率が 100%、流域関連公共下水道事業、農業集落排水事業、浄化槽市町村整備推進事業、及び浄化槽設置整備事業の整備率が 100%となる計画としている。

表 6.2.1 普及率および整備率

事業手法	普及率(%)※1		整備率(%)※2,3	
	現況	R23年度	現況	R23年度
流域関連公共下水道事業	77%	100%	98%	100%
農業集落排水事業	93%	100%	100%	100%
浄化槽設置整備事業	43%	100%	24%	100%
合計	67%	100%		

※1 各事業の整備人口／各事業の計画人口

※2 公共下水道整備面積／公共下水道計画面積

※3 浄化槽設置整備事業の整備率は、  
合併処理浄化槽設置基数/浄化槽区域内世帯数